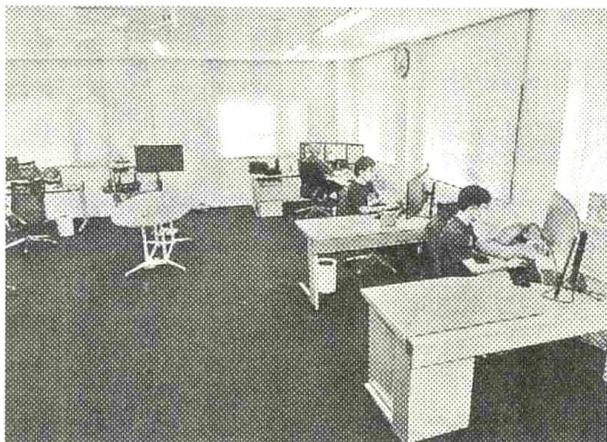


根津鋼材(社長・根津訓光氏)には、生産・物流・営業・業務全般に関わる独自システムの開発やそれら自社システム運用による業務支援・データ管理・解析などを専門で行う「システムソリューション事業部」(事業部長・樋口良成取締役)がある。

根津鋼材

「システムソリューション事業」拡充へ スタッフ増員、フロア増床



同社ではシステムを活用した業務の自動化・省力(人)化、作業効率・安全性の向上はもちろん、ペーパーレス化やトレーサビリティ強化を推進。今後も戦略的に能力拡充していく方針のもとSEスタッフの増員を順次、進めしていく。

システムソリューション事業部の執務フロア(長野県茅野市内)について、この一環で、オフィスフロアも増床する計画だ。事業部の活動拠点は、長野県茅野市の自社所有テナントビル内5階にあります、1階スペースが空いたことからここも全面的に活用する方向で検討を進めている。

同社のシステム事業は、2002年に当時取引のあつた情報システム専門企業「PDS」を事業継承したことが発端。以降、根津鋼材グループ全体のシステム構築」を掲げた同社の次世代コンセプト「Nコネクト構想」の

現在、事業部メンバーは総勢6人だが、「近いうちに10人規模に増やす」(根津社長)考え。特に発想が柔軟で斬新な若手層を積極的に採用・育成し、将来門的に担う「心臓部」を見据えた基盤強化とデータ管理・解析を専門的に担う「心臓部」屋台骨を支える。